

総務企画部総務課長
山住 哲司 様

生活福祉部健康づくり推進課長 沖村 智

会 議 要 録

名 称	第 1 回西予市立病院改革推進委員会	
事 務 局	西予市生活福祉部 健康づくり推進課 医療対策室	
	電 話 0894-62-6407	
	F A X 0894-62-6564	
開 催 日 時	平成 31 年 2 月 26 日(火) 18 : 30 ~ 20 : 20	
開 催 場 所	西予市民病院 3 階第 1 会議室	
出席者	委 員	西予市医師会長 井関満永・西予市議会厚生常任委員長 山本英明・西予市民病院長 末光浩也・西予市民病院副院長 菊池良夫・西予市民病院副院長 仲村聡夫・野村病院副院長 大塚伸之・西予市民病院看護部長 兵頭厚美・西予市民病院事務長 松末博・野村病院看護部長 山本静子・野村病院事務長 富永誠 医療介護部長 山岡薫彦 委員 11 名
	欠席者	野村病院長 守田人司・愛媛大学地域医療学講座教授 川本龍一
	顧問	八幡浜保健所長 河野英明
	その他	医療技術人員配置検討部会長 水田智 医療介護地域連携部会長 志賀岳人
	事務局	西予市民病院事務長補佐 竹内寿男・係長 沖野貴洋 生活福祉部健康づくり推進課長 沖村智・課長補佐 亀岡敦志 医療対策室長 河野千恵香 野村病院事務長補佐 富永一彦 (欠)

議事内容(要旨)

開会あいさつ 井関委員長

両市立病院は、西予市の地域医療を維持確保するための要である。
本日は、改革プランの進捗状況や今後の取組みについて忌憚のない意見をいただきたい。

協議事項

1 西予市立病院改革プランの推進状況報告

(1) H29年度からの作業部会・両病院合同協議等の開催状況

(2) 改革プランに関する職員アンケート結果報告

・改革プラン推進には両病院の相互理解・連携・意識改革が必要と感じている職員は90%を超えている。

・現状でH32年度に二次救急を市民病院に集約することは難しいと感じている職員は70%を超えているが、集約できる時期については60%が不明または未記入という回答。

結果から情報の共有を行いながら議論を進める必要がある。

2 市立病院の経営状況について

(市民病院)

・経常収支比率100%が、改革プランの目標の1つであるが、開院以来、患者数は増加傾向にあるものの、病院建設に係る減価償却費の影響が大きく、現状の体制を維持したままの達成は難しい状況である。31年度より企業債償還が本格化するため、それに見合う収益を確保することが重要。市からの所定の繰り入れを行ったうえで、経常損失を縮小する方策が必要である。

(野村病院)

・野村・城川地区の人口減少に伴い、患者数も減少傾向にあるものの、包括ケア病床の増設、不採算地区病院に係る繰入金(特別交付税措置80%)の増額等により、後年度、経常収支比率100%の目標を達成できる見込みである。

3 医療従事者勤務環境改善の取り組みについて

市独自に医師・看護師・コメディカル等の代表者にヒアリングや全職員を対象としたアンケートの実施など課題を抽出し、「愛媛県医療勤務環境改善支援センター」の支援も受け改善に取り組む。

4 西予市立病院改革プランのH29年度評価について

・数値目標に係る評価

(1) 医療機能等指数に係る数値目標

(2) 経営指標に係る数値目標

・具体的な取り組み内容に係る評価

5 改革プランの今後の進め方について

(1) 西予市立病院の救急体制と地域医療ニーズを考慮した診療機能案を作成する。

・合同幹部会、本日の委員会から出た意見を参考に、可能な

	<p>限り H30 年度内に骨格を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H31 年度上期中にはプラン修正案及び推進計画を策定する 市内公立病院の医療ニーズ予測と課題 (2) 両病院の協力体制の強化 (3) 医療従事者勤務環境改善の取組み推進 (4) 経営改革推進 <p>連絡事項</p> <p>当プランの点検評価は年 1 回程度行うこととなっており、各委員には、3 月 18 日に開催される西予市地域医療対策検討委員会に報告するため 3 月 6 日（水）までに評価書の提出をお願いしたい。</p> <p>閉会あいさつ（山岡医療介護部長）</p> <p>災害により取組が遅れているが、早急に進めていくので協力をお願いする。</p>
備 考	